

県政報告

小島すすむ

2019年新春号
新潟県議会報告
〈新潟市秋葉区〉

発行 小島すすむ事務所
新潟市秋葉区南町9-1
TEL・FAX 0250-25-3400

新春のごあいさつ

年末年始は寒波の到来も心配されましたが、雪もなく穏やかな平成31年がスタートを致しました。今冬は暖冬との予報ですが、雪国新潟においては冬季に数回はまとまった雪が降り通勤・通学など住民生活に影響が毎年でております。

昨年を振り返れば本県を始め他県においても降雪時に車が立ち往生し大規模な交通障害が発生しました。県は昨年の事例を踏まえ日常生活や社会活動を維持するため平成30年度冬期道路交通確保計画を策定しました。市民各位におかれましても除雪作業へのご理解ご協力をお願い致します。

早いもので4年間の任期も残すところ後わずかとなりましたが、この間人口減少対策に取り組んでまいりましたが歯止めは掛かってはいません。今後も住み慣れた地域で住み続けられる持続可能な街づくりに取り組んでまいります。

最後に、今年の世相を表す漢字一文字に「災」が選ばれました。西日本豪雨、北海道胆振東部地震など地震、台風、猛暑、雪害など自然災害が多い年であり、防災を意識した年でもありました。今年も、昨年の「災」が「災い転じて福となす」一年となります様ご祈念申し上げご挨拶と致します。

新潟県議会議員 小島すすむ





- 会 派：未来にいがた
- 常任委員会：産業経済委員会
- 特別委員会：総合交通・防災対策特別委員会

9月議会連合一般質問抜粋 (9月27日)

災害対策について

質問 被害を最小限に抑えるためには「正しい情報を正しく理解し、迅速な行動を取る」ことが必要であり、まずは住民が正しい情報を正しいタイミングで受け取れる体制がなければならない。県内において、市町村によって災害・避難情報の伝達方法が異なり、それにより避難行動に違いが生じていることがあるのか伺う。

答弁 災害時の避難行動については、市町村ごとに伝達方法が異なることは事実であり、災害の種類やその大きさ、地域特性など様々な要因が、住民の避難行動の違いに繋がっているものと考えている。

県としては、住民の皆さまが適切な避難行動をとることが出来るよう、市町村や関係機関と連携し、まずは、議員ご指摘の災害時の情報伝達手段や、住民避難等に関する対策を住民目線で見直すなど、防災・減災対策に取り組んでまいりたいと考えている。

質問 居住地以外の市町村への通勤・通学者や、国内外からの観光客などが、県内のどこにいても現在地の災害・避難情報を受け取ることができる伝達方法が必要と考えるが、所見を伺う。

答弁 災害時の情報伝達については、議員ご指摘のとおり、居住者以外の一時滞在者にも災害・避難情報が確実に伝達されることは重要と考える。

現在、災害・避難情報は、防災行政無線や緊急速報メールなどで、一時滞在者に対しても提

供されており、また、外国人の皆さまに情報を提供する手段も用意されているが、県としては、これらの情報がより確実に伝達されるよう対策を加速させてまいりたいと考えている。

質問 スマートフォンを含む携帯電話への災害・避難情報の発信は有効であるが、発信方法はメールやアプリなど自治体によって異なっている。現在地の災害の状況や避難情報、避難経路、避難場所、安否確認などの情報提供について、新潟市の防災アプリなどを参考にして、県が統一した防災アプリを作成すべきと考えるが、所見を伺う。

答弁 防災アプリの作成については、現在、防災情報に関するアプリは、新潟市や様々な団体などから提供されているところであり、県としては、これら様々な情報提供手段も確認し、県民の皆さまに災害・避難情報を確実にお届けするために、どのような方法が真に有効なのか、住民目線に立って検討してまいりたいと考えている。



11月3日 消防団秋葉方面隊新津第3第4分団秋季演習

質問 モバイル端末の災害時の充電について対応が必要である。避難所となる学校等公共施設に太陽光発電・蓄電システム、USBなどに対応した充電設備の設置が必要であり、市町村と連携して県としても対応すべきと考えるが、所見を伺う。

答弁 避難所における充電設備の設置については、モバイル端末への充電のみならず、避難所運営の観点からも、避難所の電源を確保することは重要であると考えております。まずは、避難所における非常用発電設備の整備の状況を把握したうえで、避難所への電源供給の手段について、市町村と共に、発電機の準備や電源車の利用も含めて検討してまいりたいと考えている。

12月連合委員会質問抜粋 (12月17日)

外国人材の受入拡大について

質問 改正出入国管理法が成立し平成31年4月から施行されることになったが、昨年だけでも、低賃金や劣悪な境遇から逃れて「失踪」せざるを得なかった技能実習生は約7000人もいる。現状でもこのような事例がある中、更なる受入れ拡大によって立場の弱い外国人労働者が増えると危惧する。本県の外国人材の受入れに関し、どのような業種、地域でどの程度の人数を受け入れたいのかなど、企業に対するニーズ調査をすべきと考えるが知事の所見を伺う。

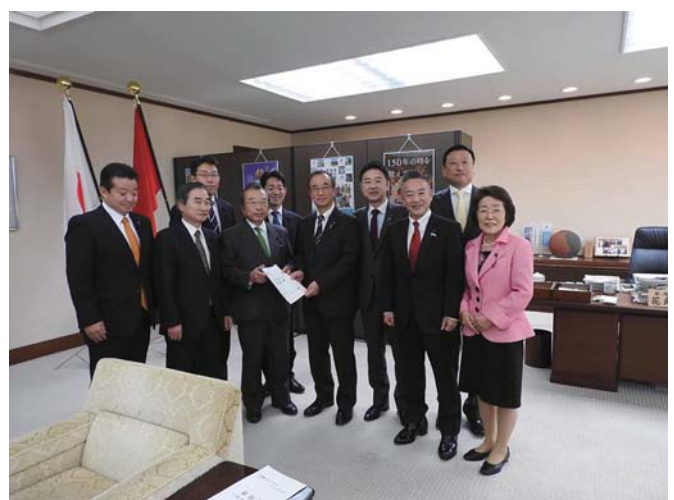
答弁 これまでも、企業訪問の機会を利用するなどして、県内企業のニーズの把握を進めてきたところであり、一部の企業において外国人材の採用が積極的に行われている一方で、必要性を感じつつも、知識やノウハウの不足などから受入れに逡巡している企業もあるなど、県内において外国人材への一定のニーズはあるものと認識している。適切な施策を講ずるためには、企業等のニーズを踏まえる必要があり、国における新たな外国人材受入れに係る制度の具体化に向けた議論も踏まえながら、今後、機をとら

えて、県内企業への調査など、ニーズ把握に努めてまいりたい。

質問 出入国管理法の改正により、今後、外国人労働者が一層増加すると予想される。外国人労働者受入れに向けた企業側のサポートだけでなく、生活・労働相談など外国人労働者のためのワンストップサービスの提供も必要と考えるが知事の所見を伺う。

答弁 多くの外国人材の受入れは、労働者としてだけではなく、生活者としての外国人が県内に広く定着していくということであり、就労面にとどまらず、生活面でのサポートができる体制を整えることは、共生社会の実現の観点からも重要であると考えている。

県内からアクセス可能な生活・労働等の相談窓口は国や民間機関において既に設置されているものもあるが、ワンストップサービスの提供という意味では、現在、国において省庁横断で外国人が生活全般について相談できる一元的な窓口の設置についても検討が進められており、まずは、その検討の結果を踏まえる必要があると考えている。



12月20日 未来にいがた会派県予算要望

未来にいがた会派の県予算要望を花角知事、教育長に行いました。各議員からも、それぞれ地域課題を含め要請いたしました。



小島すすむ県議会議員 各地での「県政報告会」「街頭演説」活動

小島すすむ県議会議員の主な活動

2018年

- | | | | |
|--------|---|--------|----------------------|
| 9月5日～ | 総合交通・防災対策特別委員会県内視察
(県道佐渡一周線、小木港、海上保安署) | 10月28日 | 消防団秋葉方面隊新津第1第2分団秋季演習 |
| 9月15日 | 県政報告会(中村公会堂) | 11月3日 | 消防団秋葉方面隊新津第3第4分団秋季演習 |
| 9月17日 | 新津近郷少年野球選手権大会 | 11月16日 | 新津商工会議所会員大会 |
| 9月18日～ | 産業経済委員会県外視察
(東京都、千葉県、茨城県) | 11月17日 | 忘れるな拉致県民集会 |
| 9月22日 | 県政報告会(小須戸まちづくりセンター) | 11月19日 | 地方議員活性化シンポジウム(東京都) |
| 9月23日 | 県政報告会(荻川コミュニティセンター) | 11月29日 | 総合交通・防災特別委員会 |
| 9月25日 | 新潟県議会9月定例会(9月議会) | 12月1日 | 秋葉区体育協会スポーツ振興大会 |
| 9月29日 | 第39回手をつなごう愛の大運動会 | 12月5日～ | 新潟県議会12月定例会(12月議会) |
| 10月2日 | 佐渡金銀山世界遺産登録推進議連 | 12月20日 | 会派(未来にいがた)県予算要望 |
| 10月2日 | 県政報告会(山谷町二三丁目公会堂) | | |
| 10月8日 | 新津近郷朝起き野球選手権大会 | | |
| 10月12日 | 会派(未来にいがた)県政街頭報告 | | |

○議会議事録は、新潟県のホームページから検索できます。
 新潟県ホームページ ⇒ 新潟県議会 ⇒ 会議録の検索と閲覧



皆さまのご意見をお寄せください。

◆小島すすむ事務所◆ 〒956-0032 新潟市秋葉区南町9-1
 TEL/FAX 0250-25-3400 E-mail info@kojima-susumu.jp
 ホームページ http://kojima-susumu.jp face book 「小島すすむ事務所」
 自宅 〒956-0806 新潟市秋葉区みそら野2丁目4-12 TEL/FAX 0250-23-0155
 *この議会報告の発行には政務活動費を使用しています。